

2011年3月期 決算説明会

TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社

2011年5月25日

※本資料についてのご注意:

本資料に記載されているTDCソフトウェアエンジニアリング株式会社の将来の予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

2011年3月期 決算概況

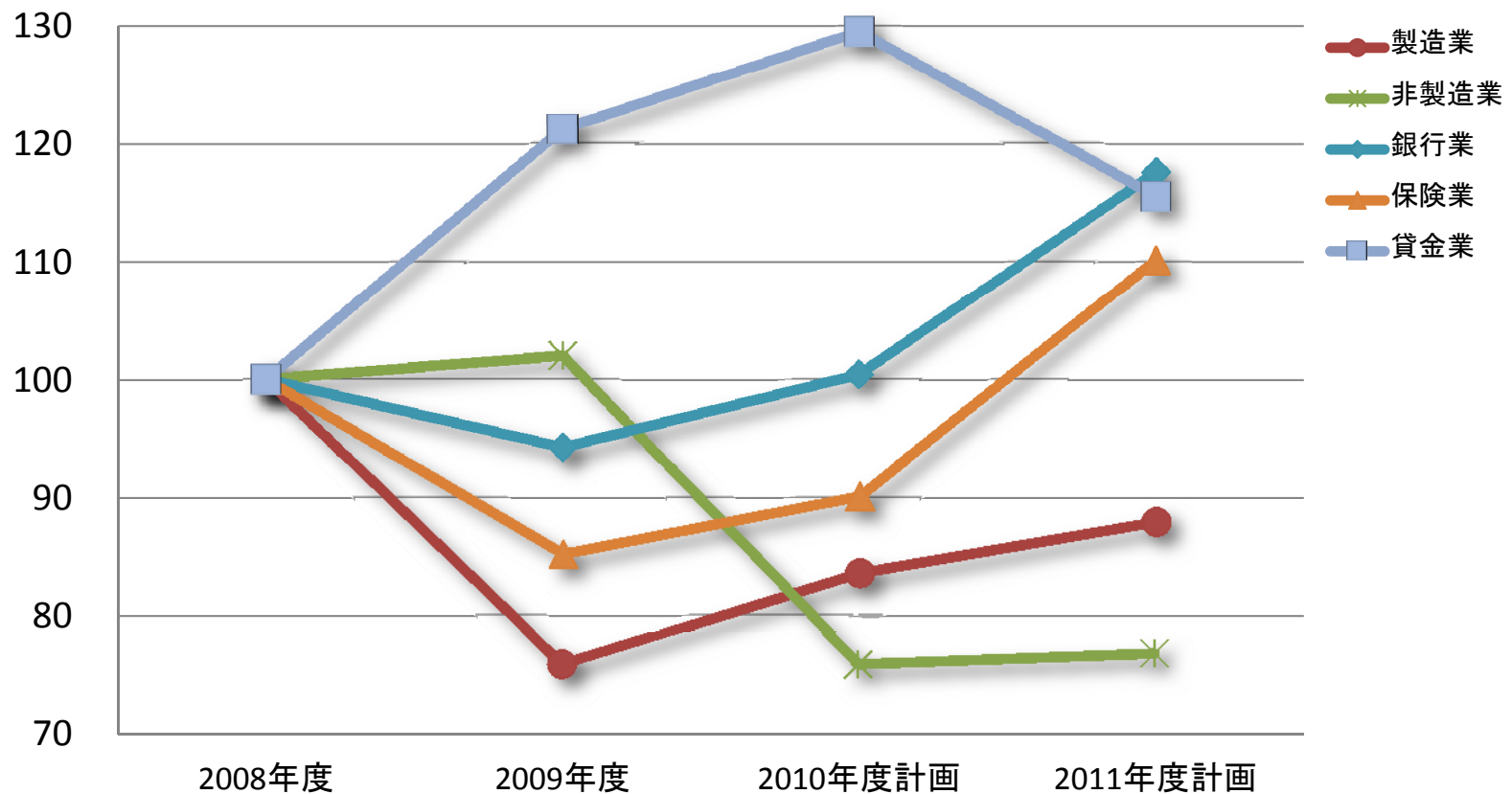
2012年3月期 通期業績見通し

代表取締役社長
谷上 俊二

情報サービス産業を取り巻く環境

- 幅広い業種において2010年度のソフトウェア投資が昨年度に比べて回復する方向
- 外部発注から内製化へのシフト、製品・サービスの価格低下、案件の小型化など業況は厳しい

ソフトウェア投資額(年度計画) (2008年度の値を基準値100として各年度を表示)



出所: 日銀「短観 (2011年3月調査)」より当社作成

決算ハイライト

(百万円)

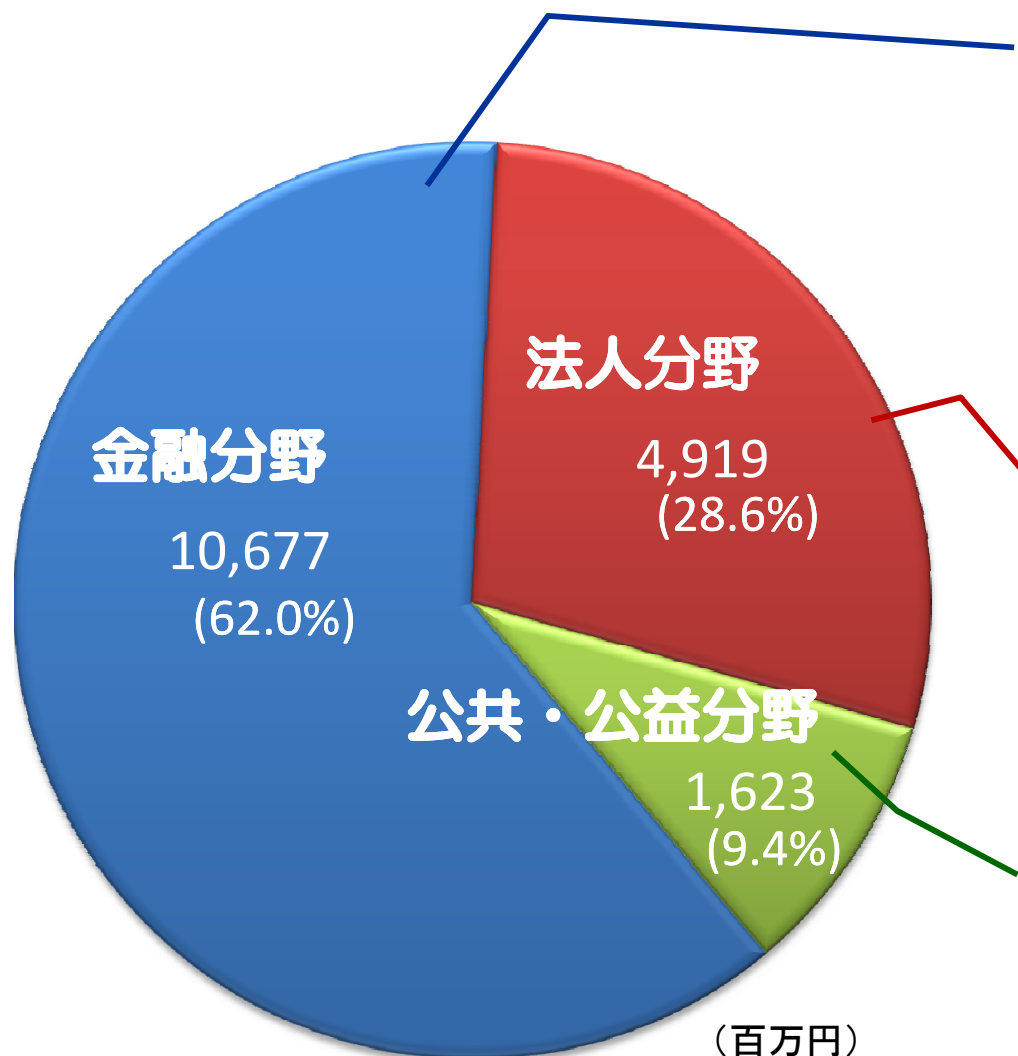
	2010年度	利益率	前期比	2009年度	利益率	期初予想	期初 予想比
売上高	17,220	-	+5.0%	16,401	-	16,500	+4.4%
売上総利益	2,520	14.6%	+2.8%	2,452	15.0%	-	-
営業利益	781	4.5%	+31.1%	596	3.6%	650	+20.2%
経常利益	870	5.1%	+42.8%	609	3.7%	650	+33.9%
当期純利益	376	2.2%	+20.5%	312	1.9%	350	+7.7%

【売上高】

公共・公益分野は前期とほぼ同等となったが、金融分野、法人分野が堅調に推移し、前期比増加

【利益】

売上総利益率は低下したものの、売上高の増加により売上総利益が前期比増加
管理業務の効率化などコストの低減に努めたことにより営業利益は前期比増加



金融分野

- ◆ 業務アプリケーションから、システム基盤、ネットワーク基盤までトータルサービスの提供
- ◆ インフラ構築やオープン化ニーズの取り込み

➡ 売上高は10,677百万円となった
(前期比+2.8%)

法人分野

- ◆ 受注優先での対応を徹底
- ◆ 運輸関連向け、通信関連システム開発が増加

➡ 売上高は4,919百万円となった
(前期比+13.1%)

公共・公益分野

- ◆ エネルギー関連向けシステム開発が増加
- ◆ 官庁向けシステム開発が減少

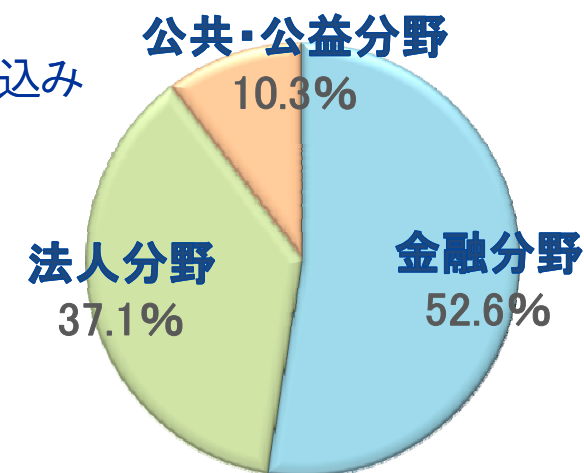
➡ 売上高は1,623百万円となった
(前期比▲2.6%)

システム基盤・ネットワーク関連

- ◆受注活動強化により金融関連のインフラ構築やオープン化ニーズの取り込み



売上高は4,627百万円となり
前期を上回った(前期比+26.5%)

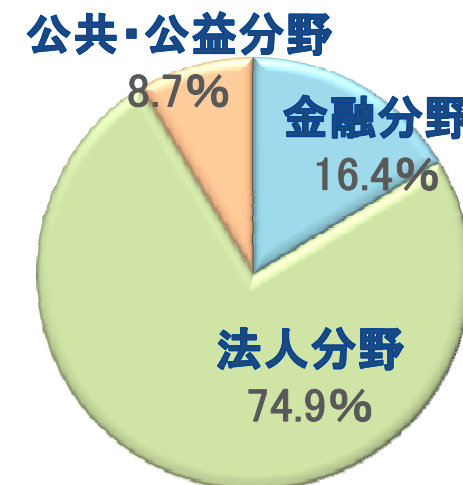


クラウド・モバイル関連

- ◆クラウドの導入支援サービス等が好調に推移

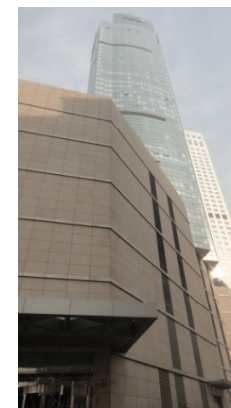


売上高は573百万円となり
前期を上回った(前期比+12.6%)



<新事業・新市場の獲得への取組み>

- **天津駐在員事務所開設**
 - ・モバイルを活用したクラウドサービス立ち上げ
 - ・金融業向けSIサービス
 - ・オフショアソフト開発
- 大阪営業所を関西事業所に名称変更
 - ・事業活動を関西及び西日本地区に拡大



<クラウドソリューションへの取組み>

- HANDyTRUSTが第1回クラウドランキング及び第2回クラウドランキングと**連続でベストサービス受賞**
- スマートフォンへの対応
 - ・**MoobizSync2.0のiPhone対応版**をリリース
 - ・**HANDyTRUSTのAndroid対応版**の開発
- ITproEXPO及びCloudDays Tokyo(主催:日経BP社)に出展



通期の見通し

(百万円)

	2011年度 通期			2010年度 通期	2009年度 通期
	増減額	増減率			
売上高	17,000	△220	△1.3%	17,220	16,401
営業利益	700	△81	△10.4%	781	596
経常利益	700	△170	△19.6%	870	609
当期純利益	370	△6	△1.8%	376	312
EPS	61.28円	△1.14円	△1.8%	62.42円	51.80円
1株当り配当金 (年間)	25円	-	-	25円	25円

<2010年度の状況>

営業活動の強化による受注確保・拡大施策により
金融分野、法人分野、公共・公益分野がいずれも堅調に推移

<課題> コスト削減により利益は増加したが、
稼働率向上などにより、粗利率を改善することが必要

<外部環境>

東日本大震災の影響による景気の先行き不透明感



IT投資計画の見直しや組み直しなどの影響を懸念

IT投資の動向は不透明

<2011年度の課題>

お客様のIT投資動向に機敏に対応し
受注の確保に努める

受注の 確保・拡大

- 営業、開発、管理の三位一体で
全社を挙げた総合受注力強化策を推進

価格競争力 の強化

- オフショア、ニアショアによる開発分業体制の構築
- アプリケーションプラットフォームを構築、活用したビジネスの推進

新事業・新市場 の獲得

- 独自性の追求等によるサービスの多様化・高度化
- グローバル展開を含めた新市場の獲得

効率化による 収益確保

- きめ細かなPJ監視、作業管理等による効率化、稼働率の向上
- 中期的な効率化を目指した管理業務のシステム化

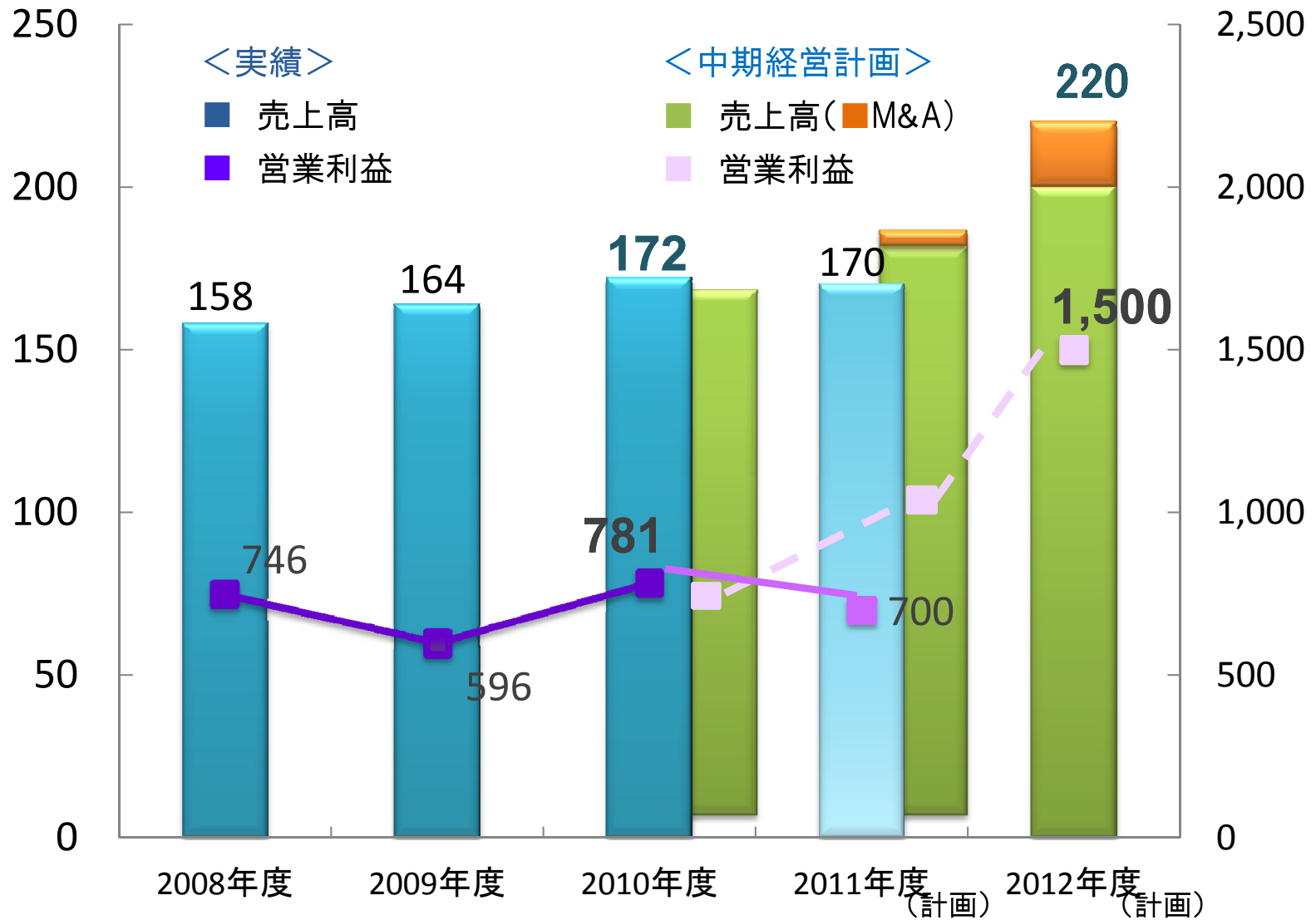
企業基盤の強化

- プロジェクトマネージャー、SEの早期育成
- グループ会社との製造ビジネスの連携強化、管理効率化

業績推移 (中期経営計画)

(売上高:億円)

(営業利益:百万円)



☆成長に必要な技術、市場を獲得するため、売上高20億円規模のM&A等を計画する

2011年3月期 決算内容

取締役常務執行役員

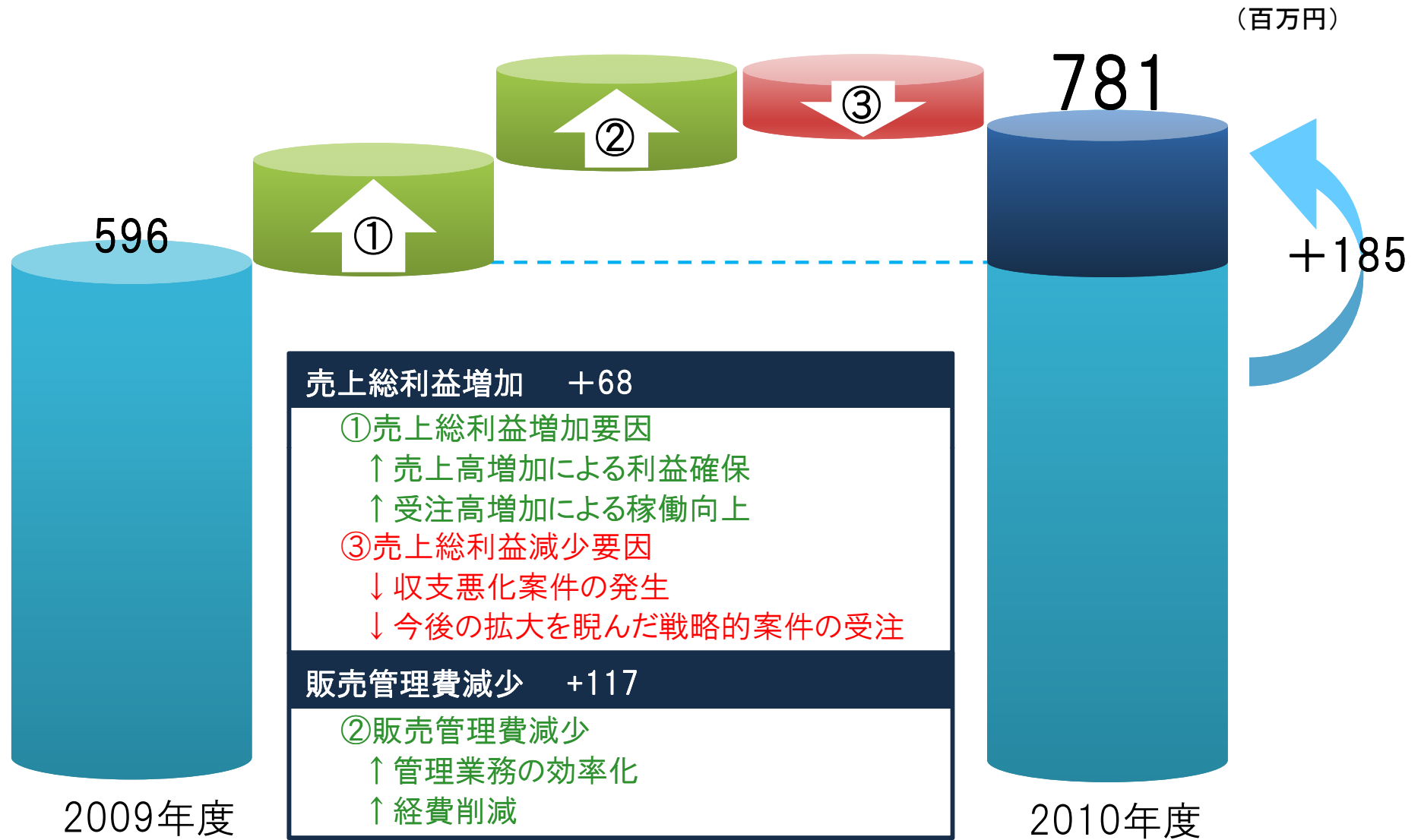
岩田 伸

損益計算書

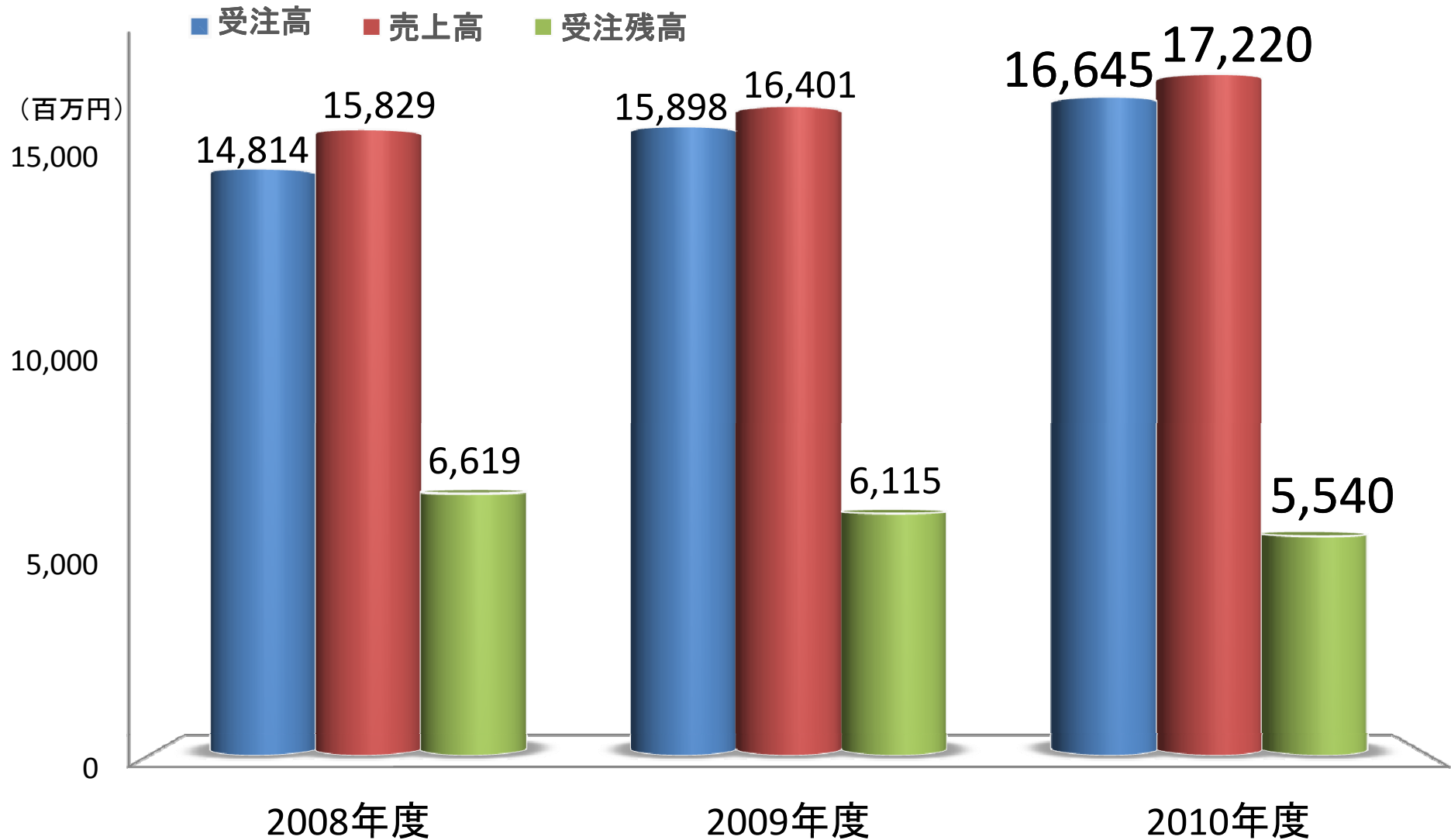
(百万円)

	2010年度	2009年度	増減額	増減率
売上高	17,220	16,401	818	5.0%
労務費	7,324	7,019	305	4.3%
外注費	6,823	5,893	930	15.8%
その他	839	964	-125	-13.0%
仕掛増減高	287	-72	359	-
売上原価	14,700	13,949	750	5.4%
売上総利益	2,520	2,452	67	2.8%
販売費及び一般管理費	1,738	1,855	-117	-6.3%
営業利益	781	596	185	31.1%
営業外収支	88	13	75	578.7%
経常利益	870	609	260	42.8%
特別損益	-118	-6	-111	-
税引前当期利益	751	602	149	24.8%
当期純利益	376	312	64	20.5%

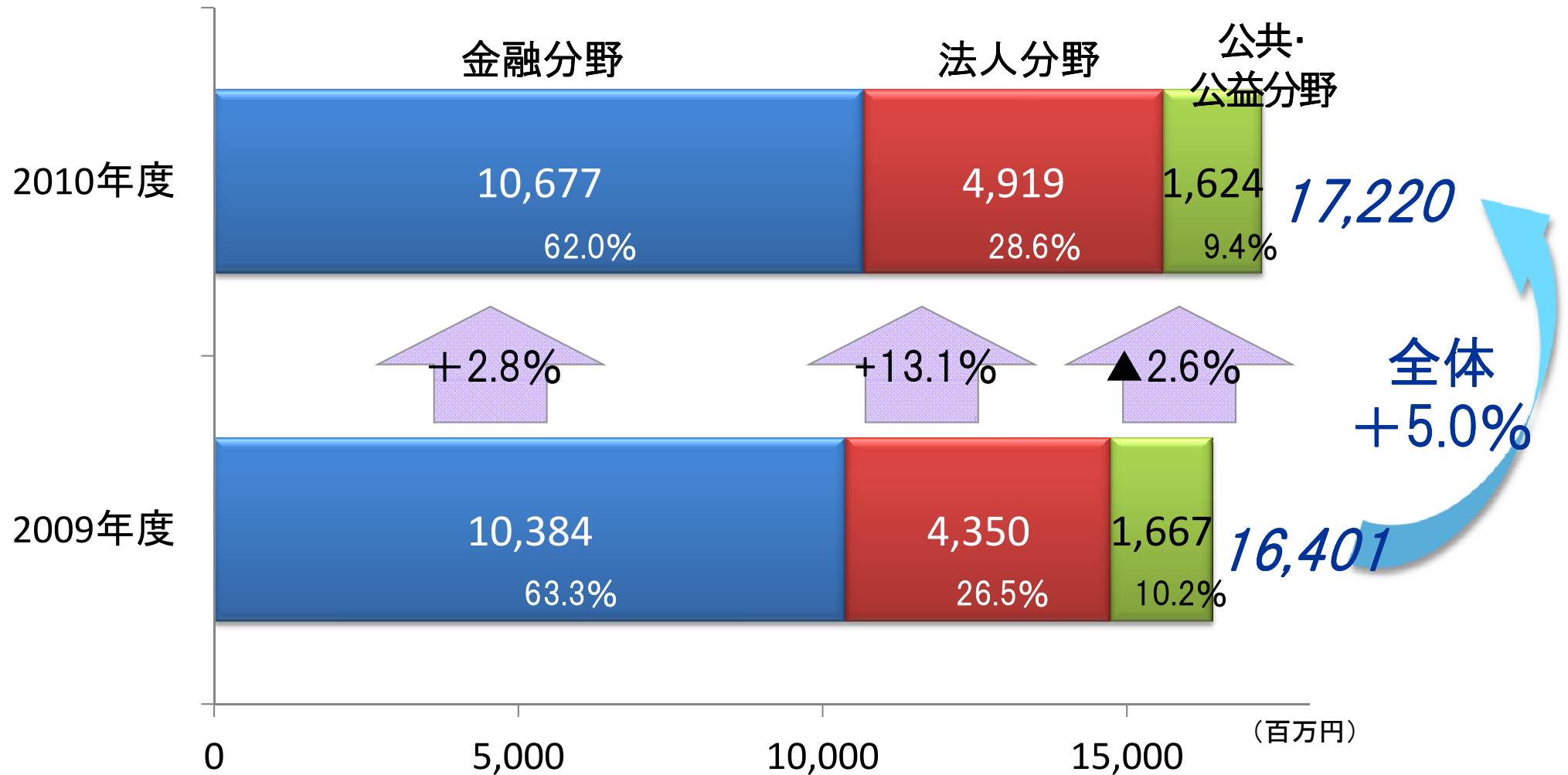
営業利益分析（前期比）



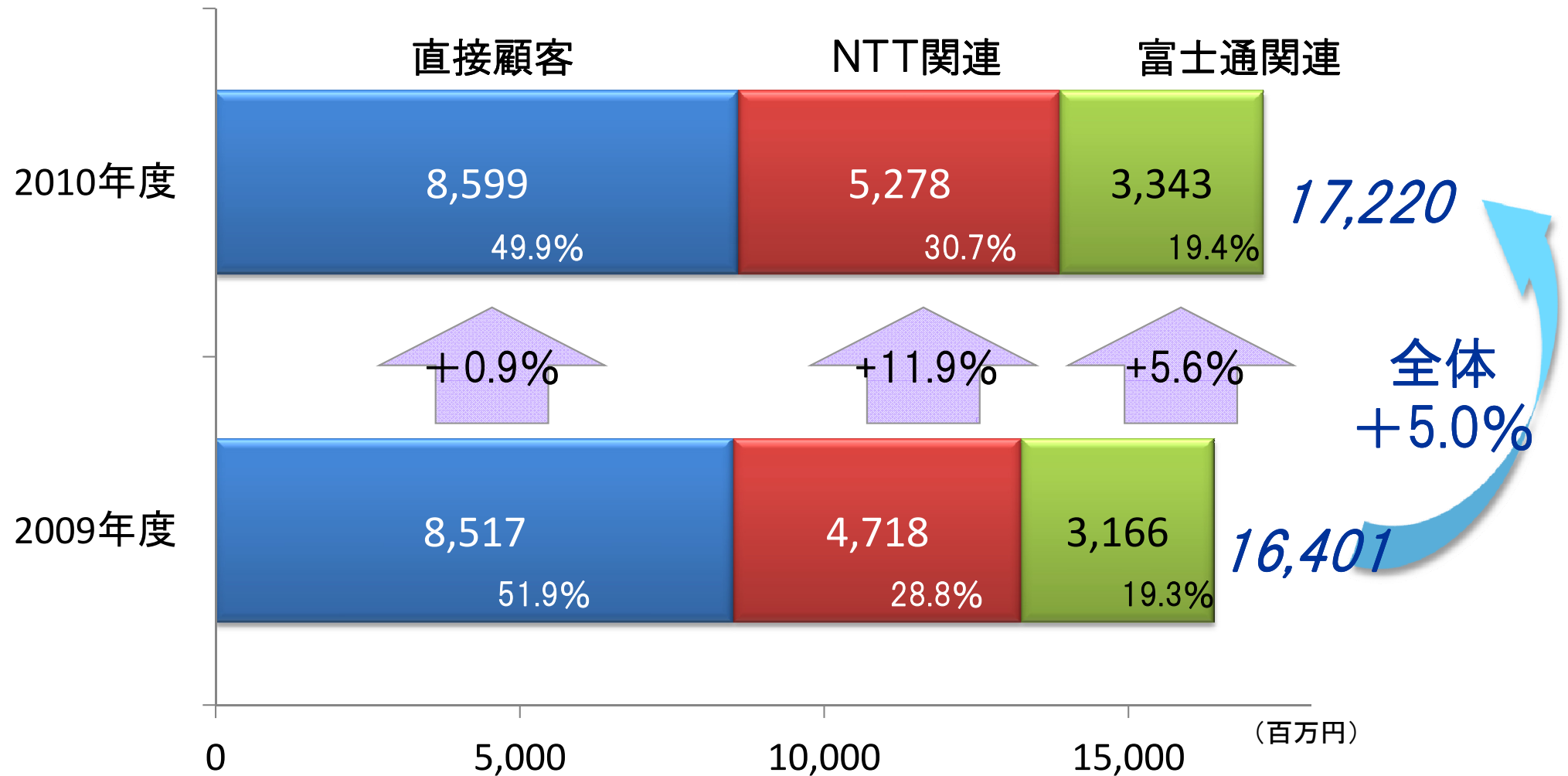
受注高・売上高の状況



事業分野別売上高の状況



取引先別売上高の状況



貸借対照表

(百万円)

	2010年度	2009年度	増減額
資産合計	10,522	9,067	+1,454
流動資産	9,148	7,625	+1,522
現金及び預金	4,199	2,727	+1,472
売掛金	3,684	3,647	+37
たな卸資産	620	334	+286
固定資産	1,373	1,441	△67
有形固定資産	68	65	+3
無形固定資産	29	10	+19
投資その他	1,275	1,365	△90
負債合計	4,674	3,431	+1,243
流動負債	4,621	3,363	+1,258
買掛金	717	626	+90
短期借入金	2,047	1,001	+1,046
固定負債	53	68	△14
純資産合計	5,847	5,635	+211
負債純資産合計	10,522	9,067	+1,454
自己資本比率	55.6%	62.2%	
1株当たり純資産	968.48	933.42	

2011年3月期 決算説明会

TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社

2011年5月25日

※本資料についてのご注意:

本資料に記載されているTDCソフトウェアエンジニアリング株式会社の将来の予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。